

ぼくのしよう来のゆめは、プロ野きゆうの中日ドラゴンズに入ることです。どうして中日ドラゴンズに入りたいかというところ、中日ドラゴンズが大すきだからです。すきになった理由は、プロ野きゆうせん手がかっこよかったです。お父さんにバンテリンドームナゴヤにつれてってもらい、ソフトバンクせんを見ました。しよ回にソフトバンクに一点を入られたけど、そのうらにアリエルせん手のヒット、ビシエドせん手のツーベース、あべせん手のヒット、木下せん手のタイムリーツーベースで三点が入り、中日ドラゴンズがぎやく点してかちました。ビシエドせん手はすごく大きくて走るのがはやかかったです。あべせん手は三だせきれんぞくでヒットをうってすごかったです。いつかぼくも、ドームのグラウンドで野きゆうをやってみたいなと思いました。

ぼくは野きゆうがやりたくて、毎日すぶりやかべ当てキャッチボールをしたり、公園でお父さんと弟とれんしゆうをしたりしていました。もつとうまくならないから、さくら木フレンズに入ろうかと思っただけど、すぐきんちようするから入るのをなやみました。知らない子ばかりだし、みんな野きゆうがうまくてぼくにできるか心配だし、学校が休みの日は休みたい。だから入るのをやめようかと思いました。でもつばさくんといっしょに野きゆうがやりたい。つばさくんはフレンズに入っていて、野きゆうがすきで野きゆうが

うまい二年生の友だちです。フレンズで体けんれんしゆうを何回かやっているうちに、なれて自しんがついてきました。ちょうどその時、一年生が入ってきたため、き本れんしゆうからやれるから入りやすくなったし、みんなが

「フレンズおいで。」

と声をかけてくれたから、ゆう気を出して入るときめました。

はじめてのフレンズは、きんちようして心ぞうがドックドックンして家に帰りたくなってきたけど、やっぱり野きゆうがうまくなりたかったからやるときめました。みんなが

「がんばれ。」

って言うてくれてゆう気が出ました。それでなか間に入ってれんしゆうをやったら楽しかったし、みんなもコーチもやさしかったです。ノックのボールがとれて楽しかった。でも、ノックで高くバウンドするボールはとるのがむずかしかったです。上手にとることは、前に出たり後ろに下がったり、バウンドを合わせることが大切だと教えてもらいました。そしてボールをとるときは、だれかとぶつからないように手を上げたり声を出したりしてとります。とるだけではなくとつたらなげれんしゆうもしています。なげることむずかしいです。何がむずかしいかというと、グローブからボールを持ちかえる時に手のうごきがスムーズにいきません。これからできるようになるために、自分でグローブからもち帰るれんしゆうを家でします。

これからの目ひようは、エラーを少なくしたいのと、し合に出てみたいことと、ホームランをうってみたいのと、ダイビングキャッチもしてみたいです。そのためには、フレンズでき本れんしゆうを

一生けんめいがんばって上手になりたいです。家でもできるれんしゅうを毎日たくさんして、しょう来中日ドラゴンズのせん手になりたいです。